

発行日 2015/10/22

株式会社 マルセイ  
浦河町東町うしお1丁目  
〒057-0005 TEL 0146-22-5123

# マルセイニュース 10月号



浦河町制100周年

「東京浦河会」の皆さま、ありがとうございます！

## 大人気の物産イベントで浦河をPR

「第21回北海道産直フェア」10月2・3・4日 in 東京・代々木公園



毎年秋に東京代々木会場で開催されている「北海道産直フェア」は、国内最大級の屋外型北海道物産イベントです。『東京浦河会』の皆さんの尽力によりほぼ毎年出品を続けてきた浦河町が、今年は過去最高の売り上げを達成！ブランド鮭「銀聖」製品を中心に浦河産の海産物が飛ぶように売れ、3日間ですべての商品を完売。「北海道ふるさと会連合ゾーン」（24市町村出品）の中、トップの売り上げだったそうです。100周年記念式典へ出席する機会に、浦河へ帰省する日を楽しみにしていらっしゃる方も多いそうです。

東京浦河会の皆さま、ふるさとへのたくさんの応援をありがとうございます！



## 今年の『産業まつり』也大賑わい！

9月27日(日):浦河町役場前会場



昨年、およそ20年ぶりに復活し大盛況だった「産業まつり」が9月最後の日曜日に開催されました。まるで夏が戻ってきたかのような暖かさにも恵まれ、役場前の会場はたくさんの方で大賑わいでした。

野菜やいちごの詰め放題をはじめ、獲れたての鮮魚や和牛の串焼きなどずらりと並んだ出店には、どのお店も行列ができていましたよ。浦河第一中学校ブラスバンドによる演奏が響く中で食べた「すずあかねのアイス」の味も格別でした。

楽しみの一つ、大人気の餅まきで、今年も多いに盛りあげられましたね。「産業まつり」に足を運ぶと、たくさん美味しい食材が地元にあることに改めて気付かされます。海と大地の豊かな恵みに感謝しながら楽しめる「産業まつり」があるのはうれいすね。どうぞ、これからも続いていきますように。



撒く人も拾う人も楽しそうな「餅まき」の様子。地域の若者や子どもたちが、いきいきと活躍の様子を見ることができた「産業まつり」会場でした。



## マルセイの第39期がスタートしました 様々な「暮らしのサポート」ができる会社を目指します!

13回目の経営合宿も終え、新年度の経営計画を練りました。マルセイ第2の創業という心構えで、浦河で「暮らしのサポート」を任せてもらえる会社を目指し、心新たに取り組んでいきたいと思ひます。



マルセイは、灯油とガスの家庭用燃料の販売と、廃棄物の収集運搬処理やご家庭の片付けなどを代行するクリーン事業を二本の柱となして長年営業してきました。近年はお客様からご紹介をいただき、夏場の売上増に貢献しています。お客様からご紹介をいただき、大変ありがたいことだと感謝しています。

クリーン事業も燃料販売事業もお客様一人一人のお宅にお伺いさせていただいて成り立つ仕事です。直接お客様とお会いすると、実にさまざまなお話を「打診」されます。お風呂の栓を新しくしたい。蛇口からのポタポタが止まらない。古くなった物干し竿を捨てたい。窓ふきをお願いしたい。物置をまらご片付けたい。物置を壊したい。などなど色々なことを相談されます。

仕事が忙しくて出来ないという場合もあれば、年を取ってしまったので自分ではちよつと、という場合もあります。本来の燃料業と関係するストーブの燃えが悪いとか、ボイラーの調子が悪いということももちろんあります。

こういうこと全般にお応えすることができて、例えばお年を召した方が自分で処置できなくて、当社にご相談していただければ解決できるという、これからはそんな会社になりたいと思っています。



例えば、大手セコムさんのウェブサイトをなどを一瞥になってみてください。実にありとあらゆる「暮らしのサポート」商品が用意されています。それだけ、今の社会で必要とされているということなのでしょう。マルセイとセコムさんでは会社の規模が違いすぎますが、小さいからこそ、そして地元の会社だからこそできることもあるはずだと思ひます。新年度からは、浦河で「暮らしのサポート」を任せてもらえる会社を目指していきます。技術力・人員など課題はたくさんありますが、粘り強く取り組んでいこうと思ひますので、今後ともマルセイをよろしくお願ひいたします。

社長

### 「マルセイ釣りクラブ」 楽しみ継続中です♪

一生懸命働いた後には、好きなことを楽しんでリフレッシュしたい。秋を迎えましたが、海で川で、まだまだ釣りを楽しんでる「マルセイ釣りクラブ」の面々です。

さて、今月の雄姿は、エイジくん！川釣りでこんなに立派なアメマス釣りをあげましたよ。寒さに向かいますが、まだまだみなで釣りに出かけて楽しみます！



おおっ！エイジくん。大モノでしたね^^

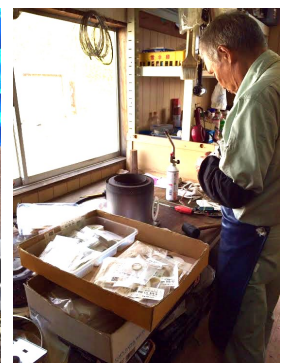


### お宅のストーブ、燃焼具合は大丈夫ですか？

## まだ、間に合います! ストーブ分解整備

ありがとうございます。6月から進めて来たストーブの分解整備も、ほとんど終了。お客様のお宅に設置させていただきました。この冬は安心して暖かくお過ごしただきたいと思ひます。

毎年のことですが、いよいよ寒くなり頻繁にストーブを使い始めるようになってから、「火がつかなくなった」「燃えが悪くて暖かくならない」といった相談をお受けすることがあります。「変な音がする」「なんか臭い」など、ストーブの調子で気になるところはあります。これらは、不具合の立派なサインです。いよいよ深刻になる前に、お気軽にご相談ください。



老眼の私たちにとって、細かな作業は辛いよね寺さん。燃焼試験も念入りに行っています。



サトウ商会の浜田さんと一緒にタンク洗浄中～

## 冬を迎える前に済ませたい“灯油タンクの手入れ”

# ホームタンクの洗浄実施中！

汚れたタンクはストーブ故障の原因のひとつ

今年は冬将軍が早そうな気配ですが、備えはいかがですか？ストーブの他に、灯油タンクのチェックもお忘れなく♪手入れのタイミングはそれぞれの状況で違いますが、お宅の灯油タンクの状態はいかがでしょう。

夏から順次、灯油配送をご利用いただいているお客様の屋外ホームタンクの無料点検にお伺いしています。今年は新人の気田くんが担当。生真面目な気田くんが一軒一軒、丁寧に点検して歩いて必要なお宅にはタンクのメンテナンスをおすすめしています。

見ただけではわからない  
タンク内の傷み具合や  
水の混入も点検しています

点検票をご覧になったお客様からの、「お任せするので、直してください」「気になるところ、みんなやっておいてね」という依頼が何だか今年は、例年よりも多いような気がします。ありがとうございます。これは気田くんが点検に回っているからに違いない！と社長が言っていますが、どうやらそんな感じ、きつとそうですね。♪

寒さが本番を迎える前に、社長と気田くん二人で順次改善を進めています。

ホームタンクの洗浄ですが、当社はタンク洗浄機を持っていないため、同業のサトウ商会さんに協力をお願いしています。洗浄実施の際は当社の者が同行しますが、今年には気田くんが訪問することが多いと思います。現場で頑張っている姿を見かけたら声をかけてあげてください。

マックス

ホームタンクは3～4年ごとに洗浄しながら大切に使用しましょう！

汚れたタンクはストーブ故障の原因に！



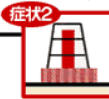
どんだん息が合ってきたかな♪社長と気田くんの二人がフィルター交換をしている様子です。

サビ・水による腐食

ご注意!!

お宅のホームタンク、こんな症状出ていませんか？

タンクゲージの破損



パイプの破損

ストレーナーの汚れや破損



### ホームタンク洗浄

料金 5,400円 (税込)

(フィルター交換を含む)



フィルター交換の前と後の写真です



「ガス警報機の無料交換」にお伺いしています

ご協力を、お願いいたします！



希望される日時にも、可能な限り対応させていただきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

今月交換にお伺いしたお客様のお宅では、4歳の愛唯(あゆ)ちゃんと楽しい出会いがありました。今年釣りを覚えたマックスがお母さんと釣りについて話していた時のことです。愛唯ちゃんも自分の釣り道具の中から“ルーアー”や“タコベエ”を持ってきて見せてくれました。



「待ってね^^」と、こだわりを持って並べてくれた愛唯ちゃんでした

“タコベエ”ってご存知ですか？釣り初心者の方にはよくわかりませんが、釣りに使う道具のひとつです。こんなに色々な“タコベエ”があるんですね。カラフルなタコベエの数々を並べて見せてくれましたが、愛唯ちゃんはお風呂にも持ち込んで遊んでいるそうですよ。こんな風に、お客様との出会いも楽しみながら引き続き交換にお伺いさせていただきます♪



北海道浦河町ナビちゃん  
ねる「うららん&かわたん」の  
FBより転載



大通り「池田鮮魚店」さん



東町「やままる食堂」さん

浦河のおいしい「食」をもっと知ってもらいたい！

## 浦河「食のPR映像」撮影中！



浦河町観光協会が中心となり、浦河の食をPRするための映像撮影が進められています。定置網で水揚げされている『銀聖』や浦河の『特別栽培米』の収穫の様子その他、町内の飲食店や販売店での撮影も行われています。11月末には、完成したPR映像と共に台湾に出向き、浦河の観光誘致キャンペーンも予定されているようです。様似町が世界ジオパークに認定されたこともあり、日高に注目してもらうには今が好機かもしれませんね。

浦河の持つ「食」の魅力が再確認されることで、より努力を重ね、新しい試みに挑戦する人も増えているように思います。みんなで頑張りましょう！浦河～



「スイーツ」や「ハンドマッサージ」も登場します

## 「とことこカフェ」へどうぞ！



「とことこカフェ」

ショッピングセンターMio さっちゃんハウス内  
第2・第4火曜日 11:00～17:00営業中

より多くの方に  
利用してもらえますよう

おかげさまで、6月にオープンした「とことこカフェ」も5か月がたち、徐々にリピーターさんや協力して頂けるボランティアさんが増えてきました。ありがとうございます。

9月22日には、静内のHappy&Smile（代表・上山由佳さん）と一緒に、多世代交流イベントを開催し、町の高齢者の方が先生となって、独楽（こま）の色塗りやパッチなどの昔遊びを行いました。また、マッサージ時間も設け、お母さんや高齢者の方々もほしの癒しの時間を満喫されました。

このイベント開催にはふたつの目的がありました。ひとつは、より多くの方にとことこカフェに遊びに来て頂きたいということでした。その思いを込めて、10月27日の営業からは、新しいスイーツが登場したり、第4火曜日のみですが、「ハンドマッサージ」と「耳つぼマッサージ」も登場します。お時間のある時に、どなたでもお気軽に遊びに来てください。

もうひとつ、継続経営をしていくために、ボランティアさんを増やしたいと願っています。ほんの少しの時間でもボランティアさんとしてお手伝いしていただける方がいらつしゃいましたら、ご連絡をお願いいたします。これからも、町の方に愛される場所にしていききたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

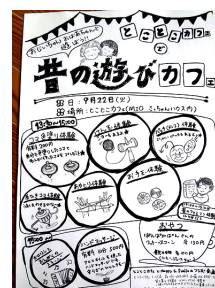
森允子・五十嵐早加



### <ボランティアさん募集！>

少しの時間でも、お手伝いしていただける方を募集中です。ご連絡はこちらまで、よろしく願いいたします。

森 090-1647-8813  
五十嵐 080-8537-7582





うらかわ「食」で地域をつなぐ協議会

地域デザインカフェVol.33

# 『ワンデイブックカフェ in デザインカフェ』

10月8日(木) 東町ふれあい会館 19:00~21:00 参加費500円



大嵐の予報が出されていた夜にもかかわらず、13名の参加がありました。持参してもらった本を回し見しながら、おすすめの感想や紹介に参加された方々は興味津々。これからの秋の夜長を過ごすのに、皆さんもお茶と本を用意して身近な方々と一緒に『ワンデイブックカフェ』を楽しんでみてはいかがでしょうか。なかなか楽しい時間になるかもですよ～^^



大きなテーブルを全員で囲み、お茶とケーキをいただきながら和やかに過ごした『ワンデイブックカフェ』。本とお茶のある、くつろぎのひとときとなりました。分かつていたなら参加したかったという方が、他にもいたことと思います。ごめんなさい。告知が遅かったことも含め、開催のお知らせが行き届かなかったのが残念です。(次回からは、早めのお知らせが出来るように頑張ります！)

ブックカフェらしくなるように、この日は『六畳書房』さんをお願いして、本の出張販売コーナーを作ってもらいました。ふれあい会館の長机を上手に利用した本棚に並んだ本はおよそ40冊。児童書から難しそうな本まで、用意された本のジャンルは様々でした。限られた冊数しか置けない小さな本棚だからこそ、普段なら手にとらない分野の本にでも目が行き、興味が持てたりするものですね。

いつものように全員で会場の後片付けをした後は、参加者の方々は自然と『六畳書房』の本のコーナーへと集まっていました。



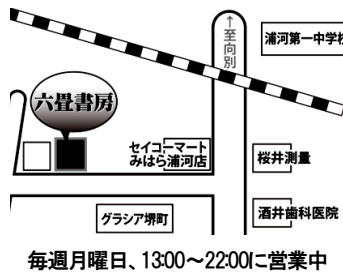
思い思いの本を持参してもらいました。「宇宙のエネルギー」「不食で生きている人がいる」「三島由紀夫って・・・」「福祉について」「短歌の流行が・・・」など、とこざとろ笑い起こりつつ色々な話題が出されたこの日。好きな本のことを話しながら、照れたような嬉しそうな顔が並んだ夜でした。

大畳書房オープンからもうすぐ1年もっと「まちの本屋」になるには……

『六畳書房』が昨年の11月25日にオープンしてから11ヶ月が経とうとしています。その近況について、店番の武藤拓也さんからお話を聞きました。

「本の入荷ルートの解決策が見つかっていないため、注文のご要望にお応えできないことが増えています。いつも同じではなく、フレキシブルな本棚を保つにはどうしたらよいかなど模索中です。また、取材のご依頼はほぼ外向けのものなので、浦河の人が足を運びやすくなることに直接つながっていない状況です。」とのこと。なかなか課題は多いようです。

その話を受けて、全員で今後についてのアイデアや意見を出し合いました。



## 次回予告 地域デザインカフェ Vol.34

今回のご案内です

# 私たちに投資してくれませんか？

～浦小ドーナツ6年生23人の挑戦！～

ゲスト 奈良崎功さん(浦河小学校教諭)

日時:11月5日(木)19:00～21:00 会費:500円



「浦河の人とともにすぐ自分」をテーマに、子どもたちが自ら考え取り組んだ総合学習のプロジェクトでした。商店街の各お店から出資を募り、商品開発から仕入れ、まつり会場での販売まで実施。たくさんの経験を積む中で、子どもたちにも変化があったのでしょうか。お話を聞くと、今からとても楽しみです。

当日は「浦小ドーナツ」もご用意して、たくさんの方のご参加をお待ちしています！

「浦河の食」で地域をつなぐ協議会  
うらかわ「食」で地域をつなぐ協議会  
〒100-0001 東京都千代田区千代田  
E-mail: urakawa@urakawagroup.jp  
http://urakawa-group.jp  
#urakawa\_group

地域デザインカフェ Vol.34  
私たちに投資してくれませんか？  
～浦小ドーナツ6年生23人の挑戦！～  
ゲスト 奈良崎功(浦河小学校教諭)

11月5日(木) 19:00～21:00 会費:500円  
浦河町ふれあい会館 和室  
(要予約、保護者同席)

第34回の地域デザインカフェは8月の満ち方で販売された「浦小ドーナツ」について浦河小学校の6年担任の奈良崎功先生にお話をいただきます。タイトル通り、大連り商店街の各お店から出資を募り、満ちりの歴史を知り、商品開発、材料の仕入れ、当日の店頭販売までを行ったこのプロジェクト。「どうしてこの企画を始めようと思ったのか?」そして授業の中で子供たちにどんな変化があったのかをお話いただきます。当日は実際の浦小ドーナツの提供もありますよ! 地域と繋がる教育をテーマに掲げた今回のデザインカフェは、是非ご参加ください!

地域デザインカフェとは…  
「地域の食」について知る・語る・学ぶをテーマに開催しているイベント。浦河町の食文化や地域を元気にする話題や盛りももっとよく知るための話題を提供してまいります。是非ご参加ください。お申し込みは下記お電話にてご参加ください。

ポスター製作協力  
地域おこし協力隊 加藤エミさん

最近読んだ  
本の中より…



# 『紋切り型社会』 武田砂鉄 著 (1982)



あなたが広告代理店のプロシエクトリーダーならば部下に問うてほしい、「余命どのくらいの花嫁が  
いちばん泣ける映画になるかな」と。「余命1ヶ月」がヒットした、ならば「3ヶ月」なら長すぎるの  
か、「1週間」なら短すぎるのか…。そういった最適化は、設定する側の自由気ままに行われ続けて  
きた。(本文より)

世の中には言葉が溢れかえって  
いて、テレビや雑誌やネットで書い  
たりしゃべる人間もおぼえきれなく  
らしいの数がいるはずなのに、なんで  
毎日毎日きのうと同じような言い  
回しを今日も読んだり聞いたりし  
ないといけないのか。世の中が紋切  
り型の表現で埋め尽くされているの  
はなぜなのか。著者はそう疑問を  
提示します。

## 紋切り型の表現で 埋め尽くされている社会

本来自由に表現してもよい事柄ま  
で「風邪薬の箱に明記されている効  
能のように」決まり切った表現が使  
われることが多すぎる、それを解  
体してみたかっただと後書きに記  
されています。たしかに、そうで  
す。わたしも自分でわかってはいる  
のですが、紋切り型の表現を使っ  
ていますね。そういうときは、もう考  
えるのが面倒くさくなっているとき  
です。ラクなんです、紋切り型で済  
ませてしまえば。  
毎朝新聞を見て、おっ今日もこれ

を使つてると読むたびに思っ  
てしま  
う表現があります。意地悪のよう  
ですが、思っってしまうのでし  
ょうが  
ありません。それは「意気込む」  
です。

## 「意気込んでいる」は本当か

何かのイベントを企画している人、ス  
ポーツの大会に出場する人、あた  
らしく事業を始めようとしている人  
などが新聞ではみんな「意気込んで  
いるんですよ。わたしはこの「意気込  
む」の4文字を紙面から見逃しま  
せん。いや、スポーツならまだいい  
んです。全国大会に出場することにな  
つた生徒が上位入賞したいと「意気込  
んでいるのはわかります。でも、絵  
画展を開く人が「意気込む」のは  
やっぱり変でしょう。わたしはいつ  
も取材を受けた側を想像します。そ  
んな意気込んで話したかなあ、じつ  
さい意気込んでないけど、と記事を読  
んで思っているはずだと。厄介な  
のは、おそらく「意気込んでいた」と  
記事を書いた人も思っていないこと  
です。思っていないくても、言葉はち  
やんと世の中に流通していきます。

著者の疑問のとおりです。

## 誰が「待望」しているの？

本書でもつとも可笑しかったのは次  
のエピソードです。著者が編集者  
をしていたとき、ある文庫化された本  
の帯のキヤッチコピーに「待望の文庫  
化！」と入れました。そのとき上司  
が「これは、誰が待望しているの？」  
と意表を突いてきて、返答に窮した  
という話です。上司さん、その突き  
返しはマナー違反でしょうと笑っ  
てしまいました。エピソードには続きが  
ありません。自分の空回りに恥じな  
がら著者が書店に向くと、「文庫売  
り場ではあらゆる文庫化が待望され  
ていた」のでした。平積みされた全  
ての本は「待望」され「号泣」され「  
一晩で一気読み」されてきました。こ  
のくだりを読んで笑ってしまいました。  
でもこのキヤッチコピーを用意した人  
たちは一生懸命仕事をしているわけ  
です。きつとかすかに疑問を持ちな  
がら、著者の元上司さん、ふと自分  
に問いかけたのではないでしょう  
うか。いつたい誰が「待望」しているの  
だろう。

社長

えっ！ 浦河に来ていたんですか？

# ノーベル賞受賞のあの方が CO・CO・Aさんに！



明るく楽しいCO・CO・Aの店主、青木さん。この店内で、その「おいしいちゃん」もきくと楽しい会話を楽しまれたことでしょうね～^^



昨日から似てる人だなと…。  
名前も何とか智って言つてたな…  
と、今朝の記事で確信しました。  
8月にひよんな事で店に来た年配の  
お客様…ノーベル生理学・医学賞を  
受賞した大村氏でした。  
と1つでも元気なおじいちゃん、2時間半  
も色んなお話ししてくれました。  
80になつても、週3日、大学の研究室に遊  
びに行つてるんだ、ハハハ。何も知らない  
私も、ハハハって笑つて…  
今朝の記事で、そんな事が載つてた…やっ  
ぱりこのおじいちゃんだったわ。土が好き  
だつて言つてたな…(笑)  
世間知らずの自分が情けないけど、帰り際  
楽しかつたよって言われたから、良しとする  
わ(笑)！あの時のおじいちゃん、受賞おめ  
でよう！  
青木さんのフェイスブックメッセージより  
えっ！ そうなの～！ フェイスブックの友達  
限定メッセージを見てびっくりしました。そ  
れは、ぜひ、町の人に紹介させて欲しい！  
と青木さんにお願ひして転載させていた  
きました。  
西幌別のココアさんを訪れたノーベル生理  
学・医学賞を受賞した大村智さん。時間つ  
ぶしをさせて欲しいと、ステキなご二人♡は  
なんと2時間半の間、青木さんと色々な  
お話をして過ごされていったそうです。



## ガスを使っておいしくクッキング 社長にも、おいしくできました♪ “バター醤油の焼きうどん”



ゆでうどんがあれば、超〜簡単に調理できます。お家にある身近な材料で美味しい焼きうどんを楽しんでみてください♪

### ●材料（2人分）

- ゆでうどん 2玉
- 豚肉 100g
- キャベツ 4枚程度
- かつお節 適量
- 紅生姜 適量
- お好みで玉ねぎ、人参、ピーマン、長ネギなど 適量



- バター（マーガリンOK!） 大さじ1〜
- しょうゆ 大さじ1〜
- 塩・コショウ 適量



### ●作り方（参考 クックパッドレシピ）

- 1、ゆでうどんは軽く水洗いして水を切る。（冷凍うどんはゆでておく）豚肉、キャベツ、その他の野菜をひと口大に切る。
- 2、たっぷりめのバターで豚肉を火が通るまで炒め、塩を振る。キャベツ、その他の野菜を炒める。
- 3、キャベツにバターが回ったらうどんを入れ、しょうゆ・塩コショウで味を整える。
- 4、火を止める直前にかつお節を振り入れ、皿に盛ったら紅生姜をのせて完成♪



まずは野菜を切る社長。ピーマンのタネを外さないまま切り始め、まな板がタネまみれ。

「あ〜！違うホラ見て！こう！先にこうやって取っちゃうの！」と、さっそくマックスの厳しい指導が入ります。



トントントン…。「なんかいい感じじゃないか？音が。よし、いった！ニンジンまで！」「ふーんふーん♪」と、鼻唄を歌いながらご機嫌な様子の社長。



しかし、玉ねぎの皮をむきながらこんな一言が。「え、洗うの？これ？火通すのに？」。いやいや、そういう問題じゃないし！このセリフ、本日のハイライトでした。



今回はちょっと多めに5人分。同時に2つのフライパンを焦さず調理するのに必死だった社長。「そもそも俺がふたつ同時になんて、ちょっと無理あるよ〜」。確かに、社長でなくとも同時に2つの火を見るのは大変。でも、頑張りました^^

味も決まってお皿に盛ろうとしたところ事件が！かつお節が無い！そこでキョウちゃんとマックスがお店へダッシュ…なんとか出来上がりに間に合っで一安心。さあ食べよう！

ところが、あれあれ？キョウちゃんがないぞ。「キョウちゃん早く〜！目の前にあるのに“待て”なんてよだれが…冷めたら減点だよ〜」とじりじりしていたばわふるでした。笑



「うん、美味しい！」と、なんと7月に続いてオール満点をもらった社長。自己評価が3.5というのがちょっと調子に乗っていませんかー。とはいえ、バター醤油とうどんと豚肉という最強の組み合わせで、とってもおいしかったです。お野菜を変えていろいろなバリエーションを楽しんでみてください♪

## 社長まさかの2連続☆3つ！

試食した人	今日の料理は★いくつ？（最高得点 ★3個）
キョウちゃん (3.0)	★★★★ 社長、今日のもおいしいです！
マックス (3)	★★★★ 今度は、日曜に家でも作って欲しいなあ〜
ばわふる (3)	★★★★ たっぷりバターで★みつつ決まりでしょう〜^^
社長 (3.5)	★★★★★ 今日の出来は、やっぱり★みつつ以上だろう？

お父さんのレポートリーにオススメです♪



### 社長のちよつと長いコラム

## 「ノーベル賞」を受賞する日本人は？

3年前のことです。同業者の一泊研修に行きました。勉強会にはゲスト講師が招かれていて、2時間ほどその方のお話を伺いました。講師の\*\*さんは、国の研究機関で働きながら東北の大学でも教鞭をとっているとのこと、日本の将来について多岐にわたる話題をとっても面白く話してくれて、聞いていて飽きることがありませんでした。講演中に\*\*さんは、「こんな質問をわたしに投げかけました。「みなさん、これから10年くらいのあいだに、何人くらいの日本人がノーベル賞を受賞すると思いますか？」



誰も確たる自信はありませんが、3人とか5人とか答えたと思います。講師は「言いました。「少なくとも20人前後です。候補と言われているの方々を受賞することは、ほぼ決まっています。いつ受賞するかは分かりません。」そう言うと、最先端の物理学や化学や医学の現状についてエピソードを交えながら、豊富な知識でいかに日本の基礎研究がすぐれているかを話してくれました。そういえば、ニエートリノがどうかとかという話もしていたような気がします。今回物理学賞を受賞した梶田教授のことだったのでしょか。10年で20人が受賞するということが、毎年2人が受賞するという計算になります。たしかにこの3年で日本は6人の受賞者を出しています。非欧米諸国では飛び抜けた受賞者数となります。何人受賞してもけつして「わたしの頭が良くなったわけでは

ない」ですが、やっぱりうれしいものです。

20人くらいは楽勝でノーベル賞をとる、日本の研究成果はすごいという話でわたしたちを喜ばせた後に、講師の方がおっしゃった言葉を書き添えないわけにはいきません。「受賞ラッシュの10年ほどが終わったあと、果たしてどれだけの日本人がノーベル賞を取れるかはきわめてクエスチョンです。」

日本の研究者も2年ないし3年という短期間で、成果を出さないと予算を削減されたりストップがかかるという厳しい環境に置かれるようになってきている。基礎研究はとも地道で時間がかかるもの。そして実用にもさらに時間がかかる。それを社会が応援して、じっくり研究できる環境を整えることがとても大事なので、みなさんも理解してください。2年後にSTAP細胞事件が起きて、予算獲得のために不正論文が提出されることかしばしばあることを知ったとき、このときの講師の話を思い出したものでした。浮き世離れた研究に没頭している少々風変わりな人がいなくなるならないような、ギスギスしていない世の中であってほしいと思います。

ところで村上春樹さんですが、今年もノーベル文学賞を逃しました。残念です。一説には、世界のハルキ・ムラカミは読者数が多すぎることが高くとまっているノーベル委員会のお気に召さないのだとか。であれば、現存する最高の日本人作家と言われる古井由吉さんを候補に入れてくださいな。読者数も少ないし浮き世離れしていますが、わたしたちみんなが誇りに思うはずですよ。



## さのぱわふる日記



皆様に、どう報告するべきか考えておりました。このまま静かに葬つてしまおうとも考えました。でも、私の中の悪魔と天使が戦い、天使の勝利！という事で新年の目標でマックスが掲げ、私まで巻き添えをくらってしまった決算まで減量5キロにしているご報告です。

当社の決算は九月二十日。すでに一ヶ月が過ぎました。この目標の結果を葬ろうとしていたのですから、結果はお分かりですね。でも、私の言い訳も聞いて下さい。



一番太っていた時からみると減量は成功したのですが、目標を掲げた時にはすでに減量していて、そこから5キロは間に合わなかった。だから、ちゃんと減量したのです。お客様から応援のお手紙や声かけもしていただいたのですから、少しは頑張りました。

なんだかんだとダイエット出来ない言い訳をするマックスと私。それを聞いていた社長が、「健康で元気なことが一番だよな」と言うので「じゃあ、ダイエットやめてもいい？」と言ってみたら優しいうちの社長「うん。いいよ。」

それにすぐ反応したマックスさん。「やめていいの！」の叫びに社長が「おまえは何もしていないだろう！」と呆れ顔。呆れられても仕方のない私達。

でも、私は続けていますよ。決算の申告期限は十一月二十日。それまで目標達成しようとして頑張っています。あと一ヶ月、社長！延長希望願います。ちなみに私の今年の健康診断は十一月下旬。いつものように短期集中！

### 発行 株式会社マルセイ

灯油・プロパンガス販売・機器修理  
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業

冬季期間(10月~3月) 定休日: 日曜・祝祭日 営業時間 8:30~6:00 土曜3:00



編集 おはなし家(マックス) 発行部数 3500部  
【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com  
【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してみてください  
〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3  
TEL 0146-22-5123 FAX 0146-22-5789